

「山元町の復興まちづくりに関する意向調査」集計結果【概要版】

町では、被災住民の生活の再建や、今後新たなまちづくりを進めるため、年内中に復興計画を策定します。復興計画の策定にあたり、町民の皆様の被災状況や、今後のまちづくりに対する意向を伺うため、平成23年6月よりアンケート調査を実施しました。以下は、アンケートの集計結果の概要をまとめたもので、集計結果は、平成23年8月4日に策定した「山元町震災復興基本方針」に反映しています。

対象

平成23年3月11日時点で、山元町に住民登録をしている全世帯

配布方法

町内の方…行政区ごとの各戸配布

町外に避難・転出されている方…郵送配布

調査・集計期間

6月22日（水）から8月31日（水）まで

グラフ、表の見方

※小数点第2位を四捨五入しています。

※2つ以上の回答をすることができる質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると、100%を超えるようになっています。

※選択肢の語句などを、一部簡略化している場合があります。

※nは全体数を示しています。

▼行政区別回収数（n=3,589）

行政区	震災前の世帯数	回収数	行政区	震災前の世帯数	回収数
八手庭	71	43	久保間	79	54
横山	144	90	中山	70	47
大平	244	179	下郷	291	201
小平	76	47	町	285	176
鷲足	103	86	上平	111	43
山寺	211	136	磯	151	75
山下	460	265	中浜	314	190
浅生原	347	190	新浜	87	47
高瀬	316	197	笠野	245	169
合戦原	101	83	花釜	1,023	624
真庭	193	144	牛橋	480	273
			無回答	—	230

<最終結果>

配布数：5,561通

有効回収数：3,589通

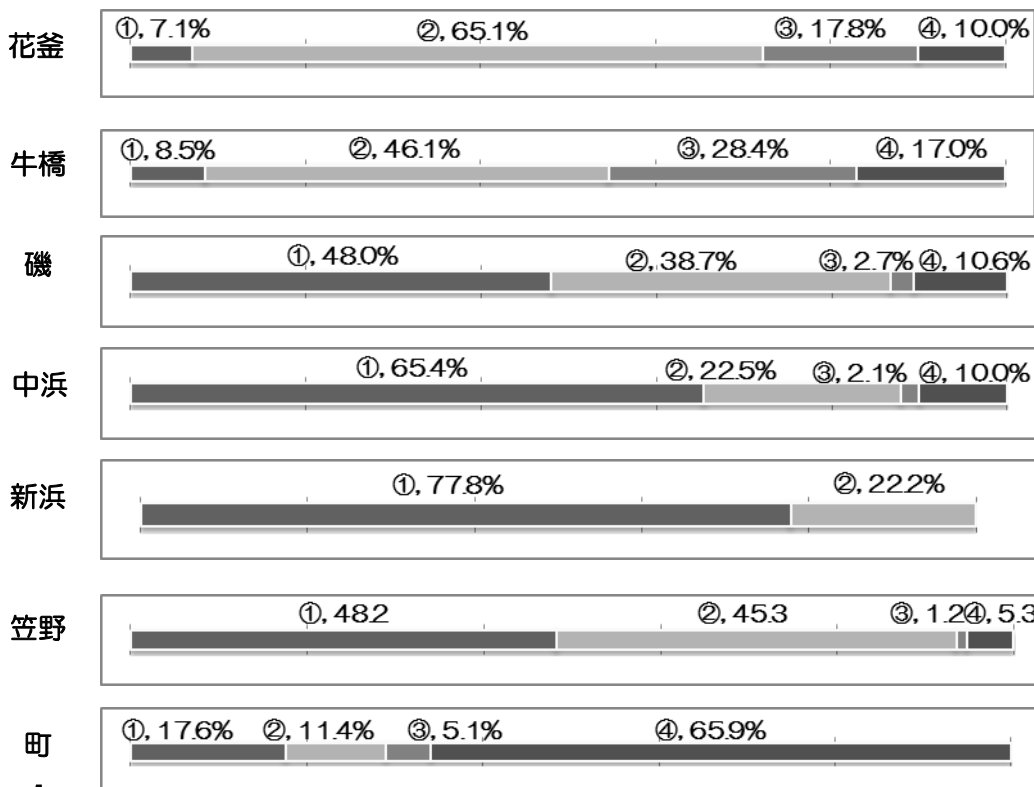
回収率：64.5

※8月31日現在

Q.住居の被災状況について。（1つだけ選択）（※津波被害の大きい7地区を掲載しています。）

▼選択肢の一覧

①津波により流出 ②津波により全壊 ③津波により半壊 ④その他



まとめ（住居の被災状況）

■津波の被害が大きかった地区の中でも、牛橋区、花釜区については、「津波により全壊」という回答が全体の多くを占め、一方で磯区、中浜区、新浜区、笠野区においては、「津波により流出」との回答が全体の多くを占める結果となりました。

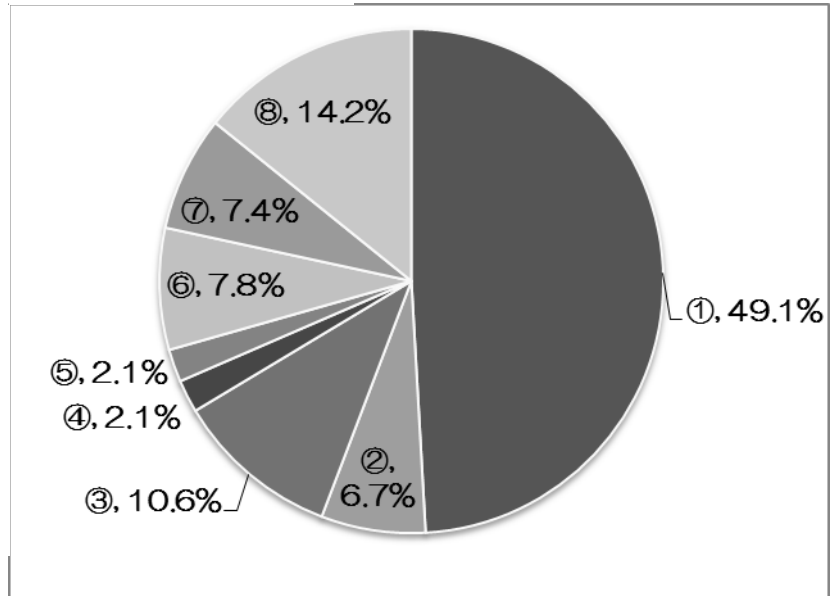
■地区ごとに内訳の差はありますが、いずれの地区においても、被災した住宅の再建の必要性がうかがえる結果となりました。

Q. 今後の居住地はどちらを希望しますか。(1つだけ選択) (n=3,589)

▼町内全体 (n=3,589)

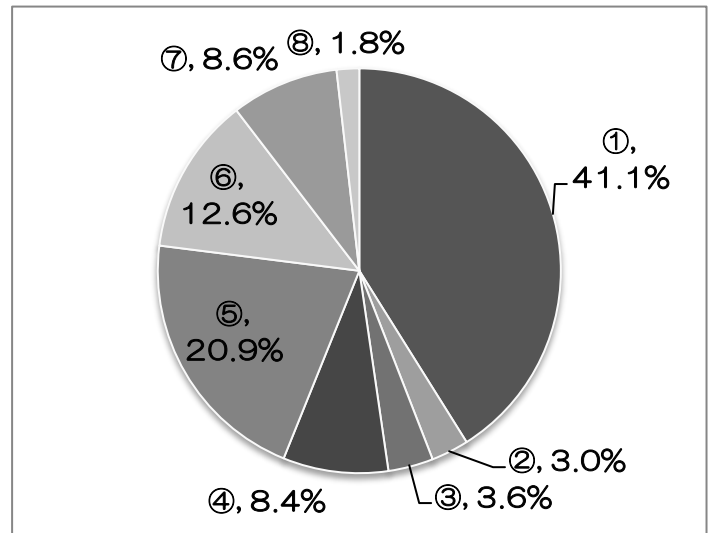
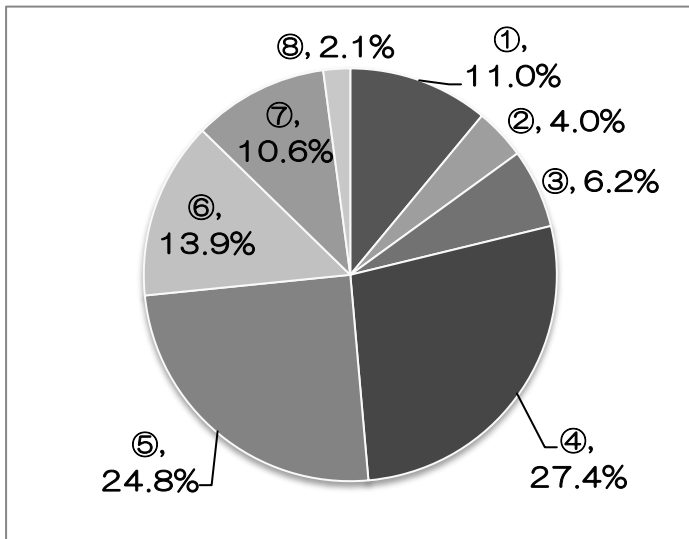
▼選択肢の一覧

- ①被災前の元の場所
- ②町が用意した安全な場所のうち、元の場所の顔見知りの多い所
- ③町が用意した安全な場所の中から、自分で選んだ所
- ④自分で探した、元の場所に近い安全な場所
- ⑤自分で探した、元の場所から離れた町内の安全な場所
- ⑥山元町外へ転出したい
- ⑦その他
- ⑧無回答



▼住宅が流出した世帯が多い4地区 (n=481)
(磯、中浜、新浜、笠野地区)

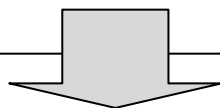
▼流出よりも全壊、半壊等の割合が多い2地区 (n=895)
(花釜、牛橋地区)



※上のグラフは、山元町の沿岸部6地区のアンケート結果うち、「住居が流出した世帯の割合が多い地区」と、そうでない地区（全壊、半壊等の回答の割合の方が高い地区）とに分けて、集計をしたものです。

※上に記載の無い地区に関しては、回答結果の内訳が全体的に類似していることと、紙面の都合上、割愛させて頂きましたので、ご了承ください。

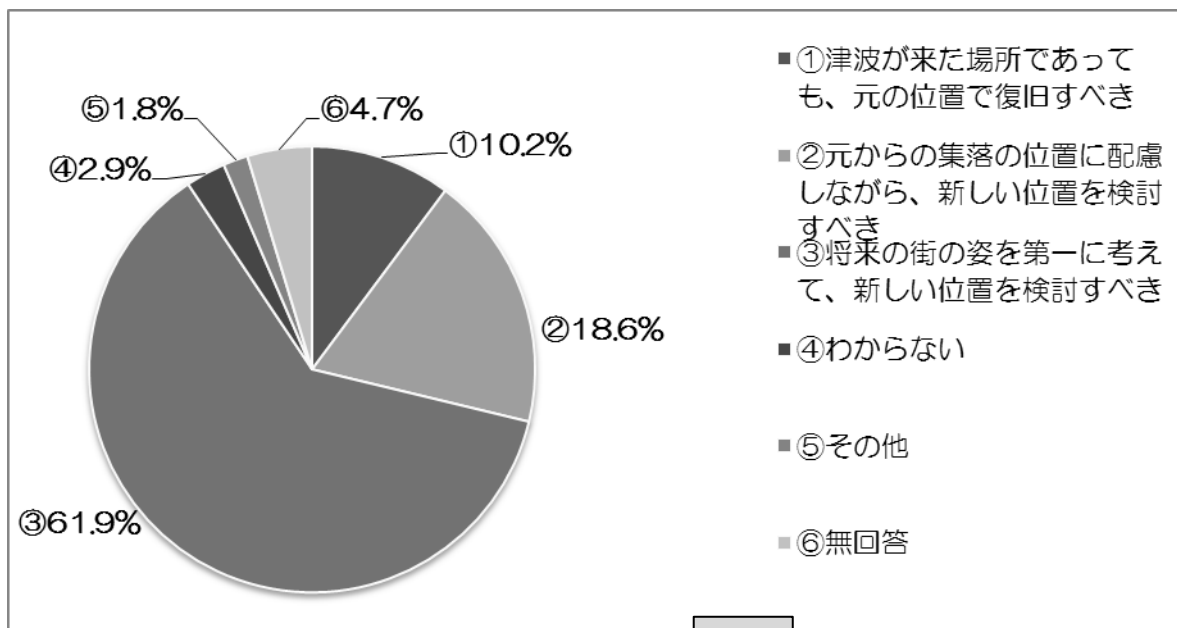
※また、上記のグラフの全体数は、回収したアンケート結果をもとにした集計ですので、実際に被害を受けた世帯数とは異なります。



まとめ (今後の居住地)

- 今後希望する居住地について、全体で最も多かった回答は「①被災前の元の場所で暮らしたい」で、49.1%でした。上に記載の無い地区では、被災前の場所での生活を希望する回答が多く見られました。
- なお、沿岸に位置する4区（笠野、新浜、中浜、磯）においては、「①被災前の元の場所で暮らしたい」との回答は11%と少なく、②、③の「町に安全な居住地を用意してもらいたい」という回答が他の地区よりも多くあり、また、「⑥山元町外へ転出したい」との回答も、他の地区よりも多い結果となりました。
- 一方で、牛橋区と花釜区の2区においては、津波の被害が大きかったものの、「①被災前の元の場所で暮らしたい」との回答がいずれも4割を超える結果となりました。

Q. 今後、鉄道や道路などの交通機関はどうあるべきと思いますか。(1つだけ選択) (n=3,589)



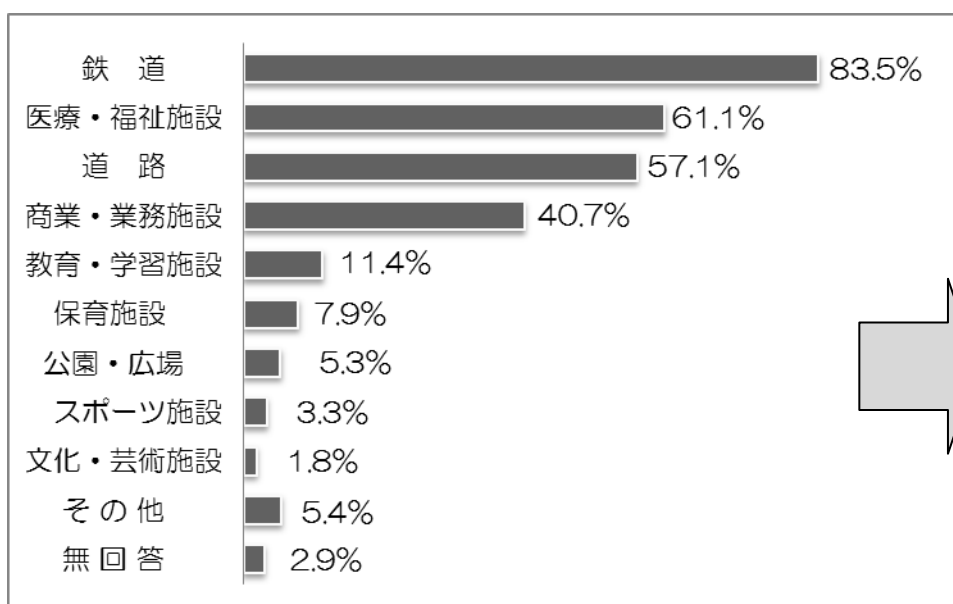
まとめ (今後の交通機関)

■全行政区において、最も多かった回答は「③将来の街の姿を第一に考えて、新しい位置を検討すべき」で61.9%、2番目に多かったのが「②元からの集落の位置に配慮しながら、新しい位置を検討すべき」で18.6%、3番目に多かったのが「①津波が来た場所であっても、元の位置で復旧すべき」で10.2%でした。

■「③将来の街の姿を第一に考えて、新しい位置を検討すべき」との回答は、ほとんどの地区で7割以上という結果になりました。

■「①津波が来た場所であっても、元の位置で復旧すべき」との回答は、笠野 (n=170) では11.2%、花釜 (n=624) で29.8%、牛橋 (n=271) で18.5%と、3地区において10%を超える集計結果となりましたが、その他の地区においては、10%を下回る集計結果となりました。

Q. 将来のまちづくりを考える上で重要と思う町の機能や施設は何ですか。(3つ選択) (n=3,589)

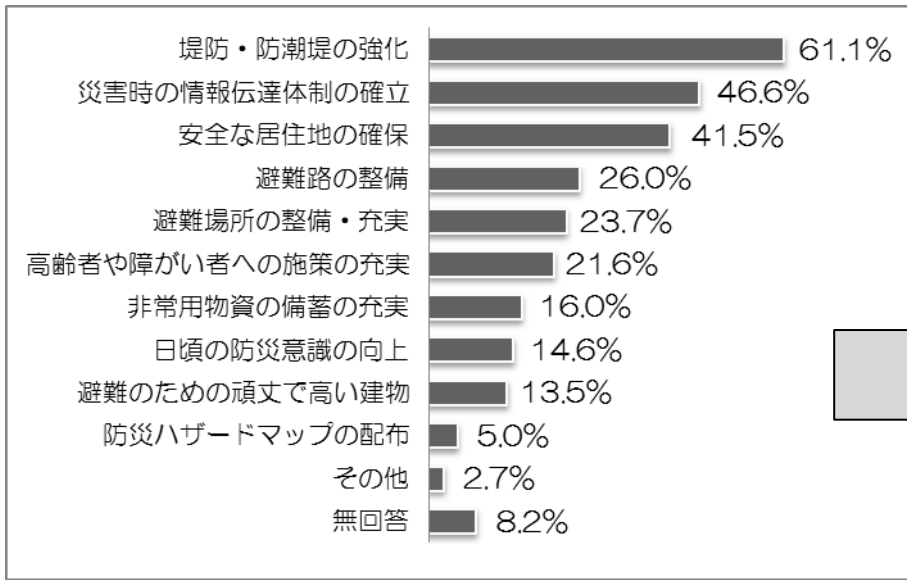


まとめ (町の機能・施設)

■最も多かった回答は「鉄道」、2番目が「医療・福祉施設」、3番目が「道路」でした。全体的に、生活インフラの充実を希望する回答が多い結果となりました。

■上位4つの選択肢に回答が集中したほか、磯、新浜においては、「道路」との回答が最も多く見られました。

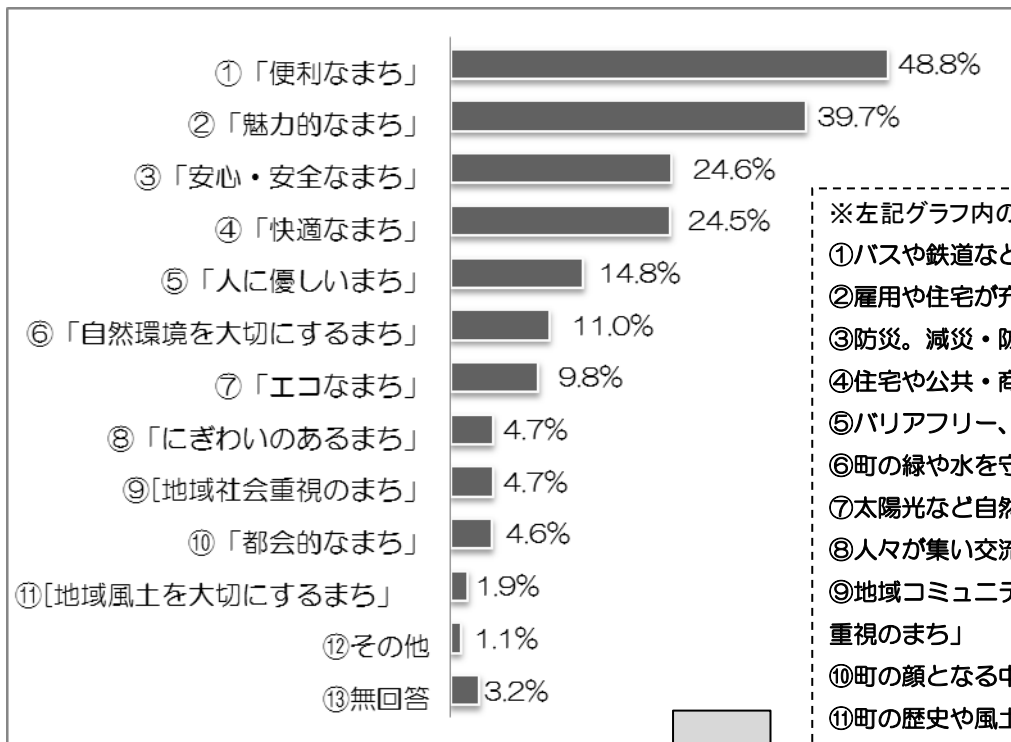
Q. 山元町が、災害に強い安全な町を目指すため、最も必要と思う防災対策は何ですか。(3つ選択) (n=3,589)



まとめ (防災対策)

- 津波の被害が大きかった地区ほど、「堤防・防潮堤の強化」、「安全な居住地の確保」との回答が多く見られました。
- また、山側にある地区ほど、「災害時の情報伝達体制の確立」を重視している回答が多く見られました。

Q. 将来のまちづくりとしてどのような「まち」が望ましいと思いますか。(2つ選択) (n=3,589)



※左記グラフ内の項目の詳細

- ①バスや鉄道など公共交通機関が利用しやすい「便利なまち」
- ②雇用や住宅が充実し、若い人が住みたくなる「魅力的なまち」
- ③防災・減災・防犯に対応した「安心・安全なまち」
- ④住宅や公共・商業施設が近くに集まる「快適なまち」
- ⑤バリアフリー、医療福祉が充実した「人にやさしいまち」
- ⑥町の緑や水を守る「自然環境を大切にするまち」
- ⑦太陽光など自然エネルギーを活用した「エコなまち」
- ⑧人々が集い交流する施設が集まった「にぎわいのあるまち」
- ⑨地域コミュニティ、人とのつながりを大切にする「地域社会重視のまち」
- ⑩町の顔となる中心市街地を形成した「都会的なまち」
- ⑪町の歴史や風土を大切にする「地域風土を大切にするまち」

まとめ (望ましいまちづくり)

- 全体的に、「公共交通機関が利用しやすい、便利なまち」との回答が多い結果となりました。
- 上位の回答はいずれも、交通の便や居住、安全対策など、直近の課題解決を希望する内容のものとなりました。

町民の皆様へ

- 意向調査にご協力頂きまして、ありがとうございました。町では、今後も町民の皆様の意向を伺うため、様々な手法による意向調査を行うことを検討していますので、今後ともご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。
- 「山元町の復興まちづくりに関する意向調査」の集計結果は、町のホームページでも公開していますので、是非ご覧ください。また、希望する方へは、役場にて配布を行っています。
- なお、意向調査表にて、今後の復興まちづくりについて自由にご意見を書いていただく設問を設けましたが、個人情報の保護に配慮したうえ、集計結果を町のホームページで公開いたします。